

マーケットの動き（2024年8月26日～8月30日）

先週の国内債券市場は、前週末比でほぼ横ばいでした。

週初は前週のFRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長の利下げを示唆する発言で米国長期金利が低下したことを受け国内長期金利も低下しましたが、日銀の氷見野副総裁の発言や米経済の堅調さを示す経済指標の発表もあり、国内債券は売られ金利の低下幅を縮めました。

クレジット市場は、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2024年8月）

国内長期金利の上昇幅は限定的

日銀は7月の金融政策決定会合で、金融緩和の度合いを調節することが適切として、政策金利を0.25%程度に引き上げるとともに、2025年度末までの長期国債の買い入れ減額に関する計画を公表しました。当面の国内長期金利は、日銀によるさらなる追加利上げ観測が上昇圧力になるとみられますが、国債買い入れ額は引き続き高水準と考えられ、また米国や欧州における今後の金融政策は利下げ方向とみられることから、上昇幅は限定的とみています。

	8月30日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.90	0.00	▲0.11	0.19	0.25
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	361.33	▲0.00%	0.69%	▲1.52%	▲1.74%

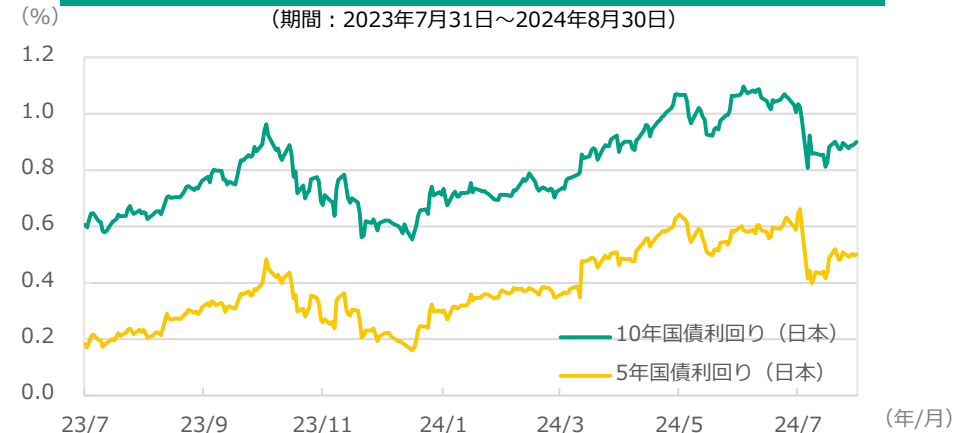
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202408_outlook.pdf

日本国債利回りの推移

（期間：2023年7月31日～2024年8月30日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2023年7月31日～2024年8月30日）



※2023年7月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目録見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>